テーマ：色

品川区立西五反田第二保育園　　対象年齢　5歳児

テーマを設定の理由

遊びや活動を通して、身近にある色の名前を知り、友達同士で同じような色にも違いや多くの種類があったりすることに気づく姿があった。身近にある『色』を使い表現する際に、子どもたちが好きな色を選んだり、色を比べたり、自分で色を作り出して表現したりし関心を深め、豊かな表現を楽しめるように取り組んでいく。

活動①～色を知る・色水作り～

ねらい：身近にある色の名前を知ったり、色の違いに気づいたりする
　　混色を楽しみ、色の広がりを知る

用意した環境

●準備したもの：色見本(カラーチャート)、水、食紅、透明容器、スポイト
　　卵パック、絵の具

探求心を実践する

●活動内容
・カラーチャートを使って、色の名前や似ている色を見つける。
・正式な色の名前を知り、身近なものを使って似ている色を探し出す。
・水や色水の量を調節しながら混色し、色を作り出す。

保育者の振り返りと気づき

・子どもたちは、たくさんの色の種類と様々な色の名前を知り、驚きながらも色の違いに注目していた。色を見つけたい、名前を覚えたいという関心が芽生えていた。
・「色の面白さ」に注目するようになった。子どもたち同士で気づきを言葉にしていた。
・色の違いに気づくと、色見本(カラーチャート)を手に取り、保育室内のものに色見本を照らし合わせて発見を楽しんだり、似ている色の名前を覚えようとしたりして色への興味へと繋がっていた。明るい・暗い・濃い・薄いなどの言葉による表現も興味深かった。

活動スケジュール(5歳児クラス)

活動内容		時間/回	人数/回
①	・色の名前を知ったり、様々な色の存在に気づいたりして色水を作る	月に数回	25
②	・植物から色水を作り出したり、他の植物と色を比べたりする	月に数回	25
③	・フラワーアレンジメントを経験し、好きな色で花を描く	1 回	25
④	黒の良さを知り、くれよんのくろくんを題材にした表現・製作遊びをする	20回程度	25

色って面白い！

活動②　～植物を使って色を作り出す・他の葉との色を見比べる～

ねらい：・自分たちで栽培した植物を使って、触れたり、色を出したりする
・赤紫蘇などの植物から出た色水で思いのまま表現する

すりつぶしたら、
色が出てきたよ！

用意した環境

●準備したもの：赤紫蘇、ミニトマトの葉、ミント、みかんの葉、水、カップ、
すりつぶし用の棒、ミニ虫眼鏡、画用紙、筆、パレット

探求活動を実践する

●活動内容
・赤紫蘇を収穫し、紫蘇をつぶして色出しをする。
・赤紫蘇や葉から出た色水の違いを知ったり、色水を使って紙に描いたりする。

●子どもたちの様子
・色出しを作る前に何色になるかを想像しながら赤紫蘇に触れ、色が濃くなっていく面白さを感じていた。
・匂いを嗅いでみたり、作り出した赤紫蘇の色に水を加えて色のグラデーションを作り、筆に色を付けて描いたりしていた。

保育者の振り返りと気づき

・色・感触・匂い等に注目し、五感を使って「赤紫蘇」を知ったり、色水を作り、色作りを楽しんだり、様々な発見に不思議さを感じ、自分なりに試しているようだった。
・色作りをすることで、他の植物の色はどうなるかを考えるようになった。
・色出しの過程で子どもたちが「見る」「触る」「嗅ぐ」「考える」姿が見られ、友達と一緒に絵の具や食紅ではなく、自分たちで育てた植物を使って色を作る楽しさを共感し、色出しの経験に面白さを感じていた。

ミニトマトの葉っぱも
すりつぶしてみよう！

活動③ ～フラワーアレンジメントで花を生け、絵の具で花を描いてみる ～

ねらい：・色とりどりの花に触れ、好きな色の花を使ってフラワーアレンジメントを楽しむ
・フラワーアレンジメントを経験し、絵の具を使って花の色を表現してみる

用意した環境

●準備したもの：花材、フラワーアレンジ用はさみ、吸水スポンジ、花を生ける用容器
模造紙、固形絵の具、筆、パレット、筆洗器

何を描いてみようかな？
わくわくする！

探求活動を実践する

●活動内容
・好きな色の花を選び、フラワーアレンジメントをする。
・フラワーアレンジメントで経験したことを絵の具と筆を使って花の色を作り、描く。

●子どもたちの様子
・様々な色の花を見て、興味をもったり、「きれい」と感じたことを言葉にしたりしていた。
・好きな色の花を複数手に取り、合わせてみたり、他に合う色を見つけ出したりしていた。
・フラワーアレンジメントが完成すると、自分の作品に愛着をもっていた。
・自分で作り上げた花の作品を観察し、大きな模造紙に自分なりの色を考え、大きく花を描いていた。
・花びらの色だけでなく、茎や葉の色に注目し、見比べながら違いや発見を言葉にしていた。子ども同士の会話も楽しんでいた。

保育者の振り返りと気づき

・子どもたちは、花の色、形、雰囲気に「きれい」と感じたまま言葉で表現していた。花と花の色の組み合わせをしている際に、好きな花の色、花の種類を見て選び、自分なりに組み合わせを考え、表現していた。
・大きな白い模造紙に描くときの表情は、一人一人異なっていて、自由気ままに描く子もいれば、自分で作った花を見ながら描く子もいて、豊かな感性のまま表現する姿が素敵であり、子どもの感じ方もそれぞれであったため、一人一人の感性を大切に受け取っていくようにした。

活動④ ～黒の良さを知り、くれよんのくろくんを題材にした表現・製作遊びをする～

「黒」って大事！

ねらい：・友達同士でイメージを共有し、共通の目的に向かって遊び進める楽しさを味わう
・身の回りにあるものを様々な素材を使って自分なりの色やそれぞれの色の良さを表現し、クレヨンや身近なもの・役になりきって遊ぶことを楽しむ

用意した環境

●準備したもの： クレヨン、白い模造紙、画用紙、カラーポリ袋、絵の具、筆、パレット、京花紙、型紙、のり、両面粘着テープ、ゴム、段ボール、工作用紙、ボンド、くれよんのくろくんの本

ぼくは「あおみどり」の役だよ。自分で作れるかな？

探求活動を実践する

●活動内容
・物語から想像を膨らませて、互いのイメージや考えを伝えあいながら遊びを進める。
・友達と役割分担したり、協力したりして意欲的に活動に取り組む。

●子どもたちの様子
・劇に向け同じ色のグループで話し合い、感じたことや表現したいことなど意見を出し合った。同じ色の中でも、一人一人がお気に入りの自分だけの色を表現しようとし、子どもたちのイメージが広がり実現に向けそれぞれが役割分担をして取り組んでいた。
・今までの活動を通して、積極的に混色を楽しみ、想像豊かに製作を同じグループの友達と協力して進めていた
・色の中でも『黒』が重要な役割を果たすことを知り、大発見だった。
・様々な色を作るには、どの色が必要かを今までの経験から理解し、その経験をもとに表現していた。

保育者の振り返りと気づき

・製作や造形遊びの経験から「黒の素晴らしさ」「１つ１つの色の大切さ」を感じ、黒があることで、様々な色を引き立てたり、色を作り出したりできる活動を通して子どもたちは、理解していた。
・役ごとに『色』について話し合う機会を設けることで、表現の仕方にも様々な方法があることを知り、色のイメージから自分たちにしかできない役を演じきっていた。
・表現遊びの内容が子どもの中でもわかりやすく、イメージを共有しやすい内容の絵本をいくつか選び、子どもたちが自然と興味をもてるように進めていった。日々の活動の中で「色」に親しみをもち、イメージを広げていくことで、身近な色、もの、表現したい内容が子どもたちにとって、具体的ではっきりと想像ができていた。子どもたちもありのままに表現していた姿に成長や自信を感じた。